

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年3月19日

事業所名 こどもの城ミュージアム

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7			児童が宿題に集中出来ない時は、事務所(別室)を使用して対応をしています。	法令を遵守したスペースを確保しています。今後も様々な工夫をしながら対応していきます。
	2 職員の配置数は適切である	7			・補助が必要な子どもに職員が付きながら、他の子は声かけしながら見守りしている。	・現在、法令の基準を大幅に超えた職員を配置しています。その強みを活かした支援を工夫します。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7			・室内はバリアフリーになっています。 ・ハード面で難しい場面(移動介助)もあるが、二人で介助するなど工夫している。	・可能な限りバリアフリー化に努めています。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7			・毎朝のミーティングで昨日の振り返りを行っている。気になる事など話し合い情報共有をしています。	・日課活動や現場支援での振り返りなど、職員間の話し合いをこまめに行い、共通理解を深め業務改善に取り組んでいます。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7			・保護者にも評価表を配布し、結果を共有して支援に繋げています。	・評価表の結果を受け、保護者様の意向を踏まえて業務改善に取り組んでいます。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7			・事業所ホームページにて公開しています。	・保護者様への評価表の結果を踏まえ、自己評価表を作成しホームページへの公開を行います。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7			現在は、事業所評価、保護者様からの評価を業務改善に繋げています。	・今年度の事業所自己評価、保護者様からの評価による改善を実施しながら、第三者による外部評価が必要か検討します。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7			・研修の機会があると、職員数問わずに声かけがあり参加している。	・今後も外部研修に職員を派遣し、支援に活かせるよう努めます。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7			・支援計画が変わると、随時報告があります。	・利用者様と保護者様の情報を職員で共有し、それを基に適切にアセスメントをし、児童発達支援計画を作成します。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7			・使用しています。	・アセスメントツールを通して、客観的に利用者様の状況を把握します。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	7			・皆で意見を出し合い、いい雰囲気で行っている。出来るだけ行うようにしています。	・様々な日課を通して支援ができるよう職員全員で検討し、また、利用者様の意見も取り入れながら立案します。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7			季節の行事を取り入れている。・利用者様が興味を持てるよう工夫して作成しています。	・利用者様の特性をベースに、主体的に楽しく取り組めるような日課の作成に努めます。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7			休日の日は、利用者が楽しくリフレッシュ出来るようイベント参加や、遠出をして活動をしています。	・季節の行事を取り入れたり、休日や長期休暇に沿った日課を取り入れ支援を行います。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7			・作成しています。余暇時間と日課の時間で分けています。 ・宿題の際は、静かな場所で取り組めるよう工夫している。	・利用者様の状態に合わせて、個別活動、集団活動を組み合わせ計画を作成していきます。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7			・その日のリーダーが中心となって、話し合いながら決めています。	・その日のリーダーの職員が、朝の会で一日の流れや日課の進め方を周知して確認します。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7			・翌日の朝に振り返りの話し合いを持つことで、反省点など早めの情報共有が出来ている。・利用者、職員数が少ない為、毎日ではなく必要な時に実施している。	・その日の職員の勤務体制や、支援終了後に振り返りの時間を設けるのが困難です。現在ミーティングや、翌日の朝の会後で振り返りの時間を設けているので維持していきます。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			・日誌、実施記録をつけ、モニタリングの際に検証している。	・日々の支援記録を基に支援の検証を継続します。
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7			・行っています。	・モニタリングにより支援の達成度、ニーズの把握に努めます。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	7			・職員間で支援方法を話し合っています。	・基本活動を踏まえながら、利用者様が楽しんで日課に参加できるよう工夫します。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			・関りの多い職員が会議に参加しています。	・担当者会議に出席し、情報の共有が図れるよう体制を維持します。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7			・保護者より学校行事に関する事などを前もって確認し対応している。	・保護者が送迎を行っているため学校からの申し送りなどもその都度確認して対応している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	7			該当する事例がありません。	該当する事例がありません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7			・認定こども園との担当者会議に参加している。	・その都度、担当者会議や連絡会に参加できる体制を維持します。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7			該当する事例がありません	該当する事例がありません
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7			・言語の研修や、口腔ケア等様々な研修に職員が参加している。	・今後も外部研修に参加し、学んだ事を職員に周知を行い専門性を高め、支援に活かせるよう努めます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	7			・地域の児童館を利用したり、他にも戸外活動で障がいのない子どもと一緒に活動する機会がある。	・地域の児童館や公園等を積極的に活用して交流を図る。また、他にもどのような方法で交流の機会が図れるのかを検討します。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	7			・沖縄県発達支援会議に参加しています。	・随時、研修やイベントに参加できる体制を維持します。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			送迎の際に申し送り、また連絡帳を介して情報を共有している。	・送迎の際の申し送りで利用者様の様子が伝えられる体制を維持します。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	7			・保護者から困っている相談があれば、連絡を取って直接話しています。	・研修、資料、講習などがあれば、保護者様にお伝えしていきます。また、職員も積極的に研修に参加し、職員全体で学びが深められるよう勉強会を行います
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7			契約時に説明をしています。	・契約の際に、保護者様に分かりやすく、丁寧な説明をする事を継続します。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			・保護者から助言を求められる時は、誠意をもって答えている。	・保護者様からの相談があると、職員全体で話し合いの機会を設け、適切に対応できるよう努めます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7			・月1回第三金曜日の午前中に行っています。	・コロナ禍の中、少人数で行い、緊急事態宣言中は中止したりしました。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7			・随時対応して、職員同士での話し合いの機会も持っています。・苦情、意見箱を設置しています	・迅速に対応できる申し入れについては現在の体制を維持し、職員全体で検討が必要相談についてはその旨を伝え適切に対応します。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7			・Facebookを介して情報を発信している。	毎週1回Facebookを活用している。ホームページは作成中。
	35	個人情報に十分注意している	7			・写真等を外部に開示する場合は、保護者への確認や顔を隠すなど、細心の注意を払っている。	・内部研修を行い、適切に個人情報の取り扱いについて理解を深めます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			・マカドサイン等を使用して意思疎通を図っている。 ・LINEを活用している。	・写真、絵カードやマカドサイン、文字盤の活用を継続し、意思疎通を図っていきます
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7			・地域でのイベントに参加もしています。	・現在行っている事を継続しながら、地域に根差した運営方法について検討します。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>各々のマニュアルがいつでも見れるよう事業所内に置いてある。</li> <li>保護者には、契約時に説明をしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>訓練は継続して行い、また、訓練の様子をホームページで公開し、保護者様へ周知をしていく。その都度、事業所全体でマニュアルを確認します。</li> </ul>
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>県が主催する虐待防止の研修に職員を派遣しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>内部研修を継続し、理解を深めて対応していきます。</li> </ul>
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>整備途中。職員間で共通認識を図っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身体拘束について事業所全体で理解を深め、必要であれば児童発達支援計画書に記載します。</li> </ul>
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>様子を見ながら、保護者に連絡を取って対応している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>契約の際に保護者からのヒアリングを行い、アレルギーのある利用者様は定期的に把握や確認を行う。</li> </ul>
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>ヒヤリハットを作成した際には、職員に周知をして共有をするようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヒヤリハット事例集を活用し、迅速に対応し、安全に支援が提供できるよう努めます。</li> </ul>